



平成 17 年 12 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17 年 11 月 22 日

（ J A S D A Q ・ コード番号： 2 4 2 7 ）

会社名 株式会社アウトソーシング

（ URL <http://www.outsourcing.co.jp/> ）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 土井春彦

責任者役職・氏名 取締役管理本部長 植松政臣 TEL : (054) 281 4888

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 四半期財務情報における税金費用は、四半期損益計算書の税引前当期純利益に年間予測税率を乗じて計上しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 連結（新規）1社（合併）1社
 平成 17 年 1 月 1 日付にて、連結子会社であった株式会社アクセントを吸収合併しております。

2. 平成 17 年 12 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 1 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日）

（ 1 ）経営成績（連結）の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 12 月期第 3 四半期	13,152	()	145	()	151	()	68	()
16 年 12 月期第 3 四半期		()		()		()		()
(参考)16 年 12 月期	16,548		604		582		283	

	1 株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
17 年 12 月期第 3 四半期	542	09	526	97
16 年 12 月期第 3 四半期				
(参考)16 年 12 月期	26,472	06	26,176	11

(注)四半期の概況は当第 3 四半期から作成しておりますので、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期におきましては、引続き国内景気に緩やかな回復が見られ、多くのメーカーにおいて増産の動きがあり、当社の受注も堅調に推移しました。

しかし、昨今の労働力人口の減少、同業他社との競争激化の影響から人材確保において苦戦を強いられることとなり、受注を売上につなげられない案件が多く発生しました。また、人材不足により原価、募集費が上昇し、営業利益の悪化を招きました。

このような状況に対応するため、コールセンターや採用面接専門スタッフの配置等による採用の強化や、支社制の細分化による営業体制の強化、さらには外部から幹部要員を招聘して教育体制も強化しました。これに加えて知名度向上のためのテレビCM制作等の先行投資を行いました。

この結果、当第3四半期までの経営成績は、売上高 13,152 百万円、営業利益 145 百万円、経常利益 151 百万円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年12月期第3四半期	3,635	1,876	51.6	14,878 84
16年12月期第3四半期				
(参考)16年12月期	3,687	1,839	49.9	145,915 19

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年12月期第3四半期	37	478	35	813
16年12月期第3四半期				
(参考)16年12月期	227	65	596	1,364

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の第3四半期末残高は813百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主な資金増加としては税金等調整前当期純利益 160 百万円と売上増加に伴う仕入債務の増加(外勤社員給与等の増加) 137 百万円があり、一方、主な使用資金は、未払消費税等の減少 131 百万円と法人税等の支払 297 百万円がありました。

この結果、営業活動全体としては、37 百万円の資金が減少しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得による支出 799 百万円及び売却による収入 500 百万円があり、また、無形固定資産の取得による支出 108 百万円がありました。

この結果、投資活動全体としては、478 百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは配当金の支払等があり、この結果、35 百万円の減少となりました。

[参考]

平成17年12月期の連結業績予想(平成17年1月1日～平成17年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	17,830	100	42

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 335円74銭

[業績予想に関する定性的情報等]

本日別途開示いたしました「通期業績予想の修正および配当予想に関するお知らせ」のとおり、通期の業績予想を修正しております。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。従いまして、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。